

共通 USB ドライバ インストールマニュアル

1 はじめに

本ドライバは、下記製品専用の USB ドライバです。パーソナルコンピュータ（以下 PC）と USB ポートを利用してデータ通信するためには、本ドライバのインストールが必要です。各製品の通信ソフトを購入し、ご使用されている環境でのみ、本ドライバを使うことができます。各製品の通信ソフトの詳細については各製品の取扱説明書をご参照ください。

一度インストールすれば二度目以降は各インターフェースを意識することなく使用することができます。

目 次

1	はじめに	1
2	対象機種	2
3	動作環境	3
4	使用方法	4
4.1	USB ドライバのダウンロード	4
4.2	USB ドライバのインストール	4
4.3	PC と各製品の接続	6

2 対象機種

対 象 機 種	対 象 通 信 ソ フ ト
デジタル粉じん計 LD-3、LD-3K、LD-3B、LD-3K2、LD-5D、LD-1H ₂	ソフト付通信ケーブル S-USB
デジタル粉じん計 LD-5	デジタル粉じん計 LD-5 付属通信ソフト
デジタル粉じん計 LD-5R	ソフト付通信ケーブル LD-5R 用
デジタル粉じん計 LD-6N2	デジタル粉じん計 LD-6N2 付属通信ソフト
ミニポンプ MP-Σ 30N、MP-Σ 300N、MP-Σ 500N、MP-Σ 100HN MP-Σ 30NⅡ、MP-Σ 300NⅡ、MP-Σ 500NⅡ、MP-Σ 100HNⅡ	ソフト付通信ケーブル MP-Σ N/NⅡ 用
ローボリウムポンプ LV-40B、LV-40BR、LV-40BW	ソフト付通信ケーブル LV-250/40B 用
PM2.5 サンプラー LV-250、LV-250R	
小型マノメーター FP-1	小型マノメーター FP-1 付属通信ソフト
屋外用粉じんモニター FLD-1	—
ファイバーモニター F-1K、F-1	—
ハイボリウムエアサンプラー HV-500R、HV-700R、HV-1000R、HV-RW	—
合成反応装置 ケミストプラザ CP-400	CP-400 用通信ソフト
合成反応装置 ケミストプラザ CP-310	CP-310 用通信ソフト
二酸化炭素モニター（密集モニター）CS-1	CS-DSP
簡易 PM2.5 モニター PS-2	PS-DSP
簡易 PM2.5 モニター PS-3	PS3-DSP
差圧計 FPL-1	FPL-DSP
風速計 VS-1	VS-DSP
熱中症計 HSM-1	HSM-DSP
PM2.5・CO ₂ モニター PCX-1	PCX-DSP
CO・CO ₂ モニター CCS-1	CCS-DSP
水分活性測定装置 AW-1	AW-DSP
水分活性測定装置 AW-1s	AWS-DSP
水分活性測定装置 AW-Multi	AWM-DSP

3 動作環境

- 動作オペレーティングシステム Windows 10、Windows 11
(以下 OS) (Windows は Microsoft 社の登録商標です)
- PC 上記 OS が動作する PC
- 通信用ポート USB A コネクタが 1 ポート必要
また、コンピュータ上で本機能が正常に動作していること
- その他周辺機器 上記 OS 下で完全に動作が確認されているもの

使用 PC、及び周辺機器につきましては、一般的な機材で動作を確認していますが、一部機種におきまして正常に動作しない場合もあります。

- USB ドライバをインストールする前には各製品を PC と接続しないでください。
- 必ず USB ドライバインストール終了後に各製品を接続してご使用ください。
- 本仕様は特性、機能に影響のない範囲で予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

USB ドライバご使用に際して

保 証

本ドライバの機能には不具合がないことを十分検証していますが、全ての PC 及び周辺機器で動作できる環境に即していない場合が考えられます。この場合、柴田科学株式会社は適応できる範囲内での不具合を改善した代品を提供いたします（動作 OS に依存するものについては対応できかねます）。

本書はお客様が本ドライバに必ずや満足されることを保証するものではありません。また本ドライバの内容にまったく誤りがないことを保証するものでもありません。

損害賠償

本使用許諾契約及び保証書補償条項の対象如何に関わらず、柴田科学株式会社は、特定の損害、間接損害、その他本ドライバのインストール、また操作による一切の責任を負いません。具体的な損害として、本ドライバの使用によって、お客様が何らかの利益を受け損なったり、データが消失してしまった場合や、本ドライバが使用不能になったりした場合も含まれます。そのような損害が生じる可能性について柴田科学株式会社が以前から警告していたとしても、損害に対する責任を柴田科学株式会社が負うことはありません。

どのような場合にせよ、柴田科学株式会社が賠償責任を負うものではありません。

4 使用方法

4.1 USB ドライバのダウンロード

注意：USB ドライバをインストールする前には各製品を PC と接続しないでください。

- ① ダウンロードサイトで「USB ドライバ」をクリックし、「USB_DriverXXXXXXXXX※.zip」をダウンロードしてください。

※波線部分は変わる場合があります。

- ② zip 形式で圧縮していますので、解凍してください。解凍ソフトはお客様でご用意ください。
[DRIVER] フォルダができましたら解凍は完了です。

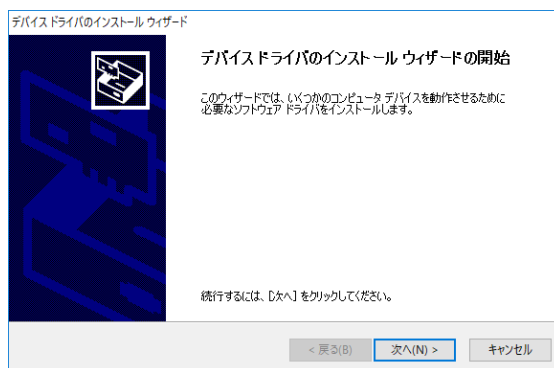
4.2 USB ドライバのインストール

- 本書の内容の通りにインストールをしてください。
- USB ドライバをインストールする前には各製品を PC と接続しないでください。
- インストールの途中で作業をやめると PC が不具合を起こす場合があります。
- PC 側の USB ポートを変更すると、再度ドライバのインストールが必要な場合があります。
- USB ドライバのアンインストールは他のソフトウェアに不具合を生じる可能性があるため、行わないでください。
- インストール後、PC と各製品を再起動してからご使用ください。

以下は、Windows 11 を例に記載します（PC の設定によっては画面が変わることがあります）。

- ① USB_DriverXXXXXXXXX.zip を解凍したフォルダの [DRIVER] フォルダを開きます。
- ② [DDInst2.exe] をダブルクリックします。

- ③ 「次へ(N)>」をクリックします。



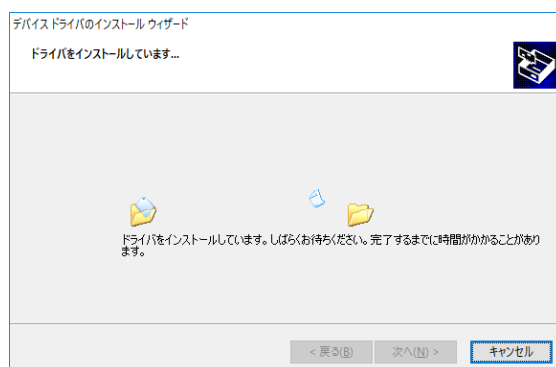
- ④ 途中で次のような画面が出た場合は、「インストール(I)」をクリックしてそのまま続行してください。

CDM Driver Package – Bus/D2XX Driver



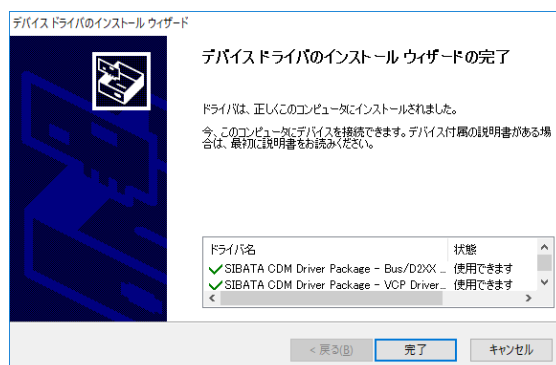
CDM Driver Package – VCP Driver の場合も同様です。

- ⑤ ドライバのインストールが開始されます。



- ⑥ 次の画面が出るとインストール完了ですので、「完了」をクリックします。
USB ドライバは以下の 2 種類がインストールされます。

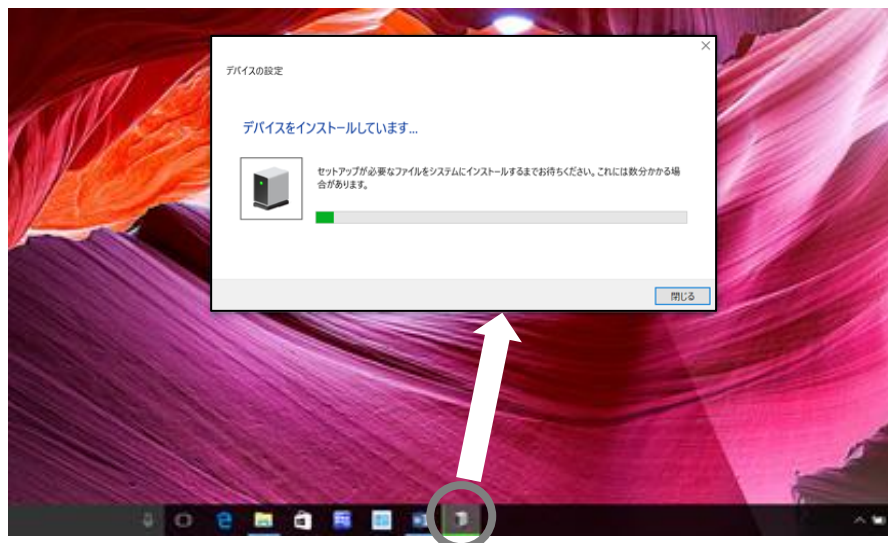
- ・ SIBATA CDM Driver Package – Bus/D2XX Driver
- ・ SIBATA CDM Driver Package – VCP Driver



以上で USB ドライバのインストールは終了です。

4.3 PC と各製品の接続

各製品の電源を入れ、PC と各製品を USB ケーブルまたは専用通信ケーブルで接続します。
この状態でデバイスドライバのインストールの最終工程が PC 側で行われ、完了します。



インストールの途中、タスクバーにインストールしていることをあらわす表示がでます。
タスクバーのアイコンをクリックするとステータスを表示することができます。
タスクバーの表示が消えたらインストールの最終工程は終了です。

- 過去に USB ドライバをインストールしたことがあると、この工程が行われない場合があります。

 **柴田科学株式会社**

カスタマーサポートセンター（製品の技術的サポート専用）
☎ 0120-228-766 FAX 048-933-1590

<https://www.sibata.co.jp>